


対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	明和町
------	-------------	-----	-----

番号	区分	事業名
1	基本・特別	学校木製備品購入事業
事業費 6,982,740 円(うち交付金:6,939,000 円)		

1. 事業の目的	
<p>小学校の学校備品(授業用机や椅子等)を三重県産木製品に取り換えることで、森林・林業への理解を深め、森林や緑を大切に思う温かい心を育む。 木のぬくもりを通して身近に森林や緑とふれあう機会を提供する。</p>	
2. 事業の内容	
<p>小学校における森林環境教育の一環として、学校備品(授業用机や椅子等)を順次、木製品に取り換える。</p>	
3. 事業の実績と効果	
<p>町内6小学校の新入生用の机・椅子:193組を木製品に取り換えた。日常的な使用を通して、木材とのふれあいが進み、森林や緑の大切さ、地球温暖化問題等への理解を深めるきっかけとなる。</p>	
4. 事業の評価と今後の取組方向	
【事業の評価】	
評価の視点	コメント
有効性	日常的な使用を通して、木材とのふれあいが進み、森林や緑の大切さ、地球温暖化問題等への理解を深めるきっかけとなる。
効率性	木の持つ独特の温かさや香りなど、木の良さを実感できる学習環境の創造により、児童に安らぎや落ち着きを与え、快適な空間での学習につながる。
公益性(波及度)	一般的に使用されているスチールタイプの机椅子と比較して重量は変わらないが、天板交換が容易にでき、高さの調整についても工具なしで容易にできるなど、利便性に優れている。
【今後の取組方向】 日常使用するもので木材とのふれあう場を提供できるという観点から、今後も順次、授業用机・椅子等を木製品に取り換えていく。	
5. 写真	 <p>町内6小学校の新入生用の机・椅子193組を木製品に取り換えた。</p> <p>日常使用するもので、木材とのふれあいが進む。</p>
6. その他特記事項	
<p>事業が完了次第、町行政チャンネルや学校だよりへの記事掲載により広く周知する。その際はこの事業の財源が、「みえ森と緑の県民税」であることも併せて周知する。</p>	

対策区分	3.森を育む人づくり	市町名	尾鷲市
------	------------	-----	-----

番号	区分	事業名
2	基本・特別	木とふれあう学校環境づくり事業
事業費		4,484,160円(うち交付金: 4,093,000円)

1. 事業の目的

市内小学校に市産材で制作した机・椅子を配置し、木のぬくもりにふれあう機会を提供し快適な学習環境をつくる。また、児童の頃から木材にふれあう中で、森林や木材に関する知識を育んでいくことを目的とする。

2. 事業の内容

宮之上小学校の全児童に対し、市産材を使った木製机・椅子を備品整備した。整備にあたり児童とPTA等との共同組立作業を実施し、その参加者に対し尾鷲市の林業をテーマとする森林教育を実施した。

【事業実施主体】尾鷲市教育委員会

【事業費】4,484,160円

【事業の規模(事業量)】宮之上小学校 机・椅子(120セット)備品整備

【事業実施期間】平成26年4月25日～平成26年9月17日

3. 事業の実績と効果

宮之上小学校へ備品整備した机・椅子:120セット

備品整備にあたり、森林教育が実施できた児童及び参加PTA等の人数:240人

4. 事業の評価と今後の取組方向

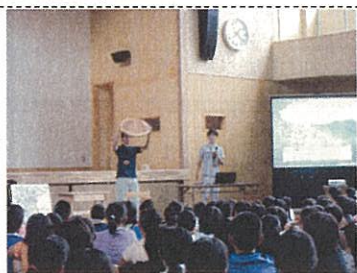
【事業の評価】

評価の視点	コメント
有効性	児童達の尾鷲の林業に対する理解が進んだ。児童に対するアンケートを実施したところ、この取組事業に対し、多くが「満足」「楽しかった」との回答であった。
効率性	木製机・椅子(120セット)備品整備にあたっては、県内参加資格事業者によるプロポーザル方式で業者を選定した。(落札率は、95%)
公益性(波及度)	宮之上小学校 児童120人に机・椅子の備品整備をおこなった。

【今後の取組方向】

今後は他校においても、森林教育と併せた木製机・椅子の備品整備を検討していきたい。

5. 写真



森林教育の状況
(宮之上小学校 平成26年8月撮影)



共同組み立て作業の状況
(宮之上小学校 平成26年8月撮影)



備品整備後の状況
(宮之上小学校 平成26年8月撮影)

6. その他特記事項

報道資料提供により地方紙に記事が掲載された。

組立作業実施日において、作業参加者に「みえ森と緑の県民税」を活用していることの説明を実施した。

実施結果を市ホームページに掲載した。

県政チャンネル「輝け!三重人(みえびと)」で当日の様子がテレビで放送された(平成26年9月12日)。

▼ 本文へ ▶ サイトマップ ▶ お問い合わせ 背景色 標準 反転 文字サイズ 標準 拡大 言語を選択 | 上



防災情報

詳しく見る ▶

尾鷲の観光情報

詳しく見る ▶

検索

ホーム

生活・手続き
暮らしや福祉の情報など

市政情報
市の施策・財政状況・入札情報など

組織一覧
組織から探す

ホーム 組織一覧 学校指導係 尾鷲市の教育

木とふれあう学校環境づくり事業の結果報告(みえ森と緑の県民税市町交付金事業)

[2014年8月26日]

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます [f シェア](#) [ツイート](#)

木とふれあう学校環境づくり事業報告～机と椅子の組立をしました～

このたび尾鷲市教育委員会では、「みえ森と緑の県民税市町交付金事業」を活用し、「木とふれあう学校環境づくり事業」を開催しました。

◆開催概要

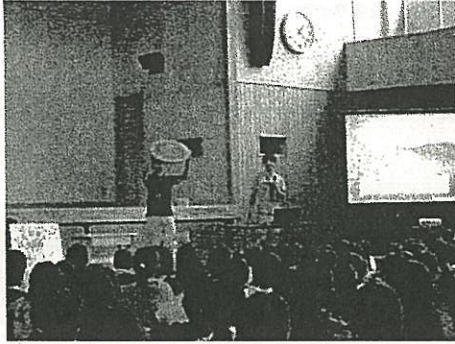
日 時:平成26年8月23日 土曜日 午後1時30分から午後3時

場 所:宮之上小学校

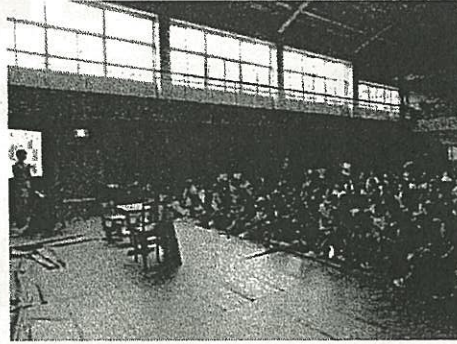
◆事業の目的

・市産材で制作した組立式の机・椅子を保護者と共同で組み立て、木のぬくもりにふれあう機会を提供し、作る楽しみと木の良さや魅力を肌で感じてもらい、森林や木材に関する知識を育む

・自分が作った物を使用するということで愛着をもち、物を大切にしようとする心を養う



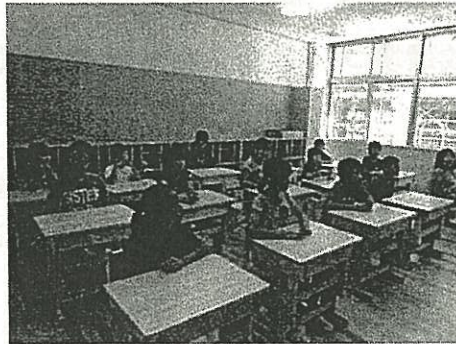
交付金事業について全校児童へ説明



説明を真剣に聞く児童



各学年に分かれて組立作業



座って木の感触を確かめてもらいました。

ご意見をお聞かせください

このページは役に立ちましたか？

役に立った まあまあ役に立った どちらともいえない あまり役に立たなかった 役に立たなかった

このページは見つけやすかったですか？

見つけやすかった まあまあ見つけやすかった どちらともいえない やや見つけにくかった
見つけにくかった

このページに関してのご意見がありましたらご記入ください。

(注意)お答えが必要なお問合せは、直接担当部署へお願いいたします(こちらではお受けできません)。

送信

お問い合わせ

尾鷲市役所教育委員会教育総務課学校指導係
電話: 0597-23-8292 ファックス: 0597-23-8294
[お問い合わせフォーム](#)

[ページの先頭へ戻る](#)

尾鷲市役所

〒519-3696 三重県尾鷲市中央町10番43号 市役所へのアクセス
電話: 0597-23-8132(平日昼間) 23-8111(休日・夜間) ファックス: 0597-22-2111
E-mail: koho@city.owase.lg.jp(メールソフトが起動します)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	朝日町
------	-------------	-----	-----

番号	区分	事業名
2	基本・特別	児童館への木のおもちゃ配備
事業費		52,000円(うち交付金: 48,000円)

1. 事業の目的
 幼い頃から木のおもちゃで遊ぶことで、木の肌触りや温もりを感じてもらい、森林や緑を大切に思う心を育んでもらう。

2. 事業の内容
 【事業実施主体】朝日町
 【事業費】52,000円
 【事業の規模(事業量)】ままごとキッチン 1セット
 【事業実施期間】平成26年9月～平成26年11月

3. 事業の実績と効果
 児童館来館者(乳幼児等)に木のおもちゃで楽しく遊んでもらうことで、木に対して親しみをもってもらい、森や緑を大切に作る心が育まれると期待される。11月以降の月平均来館者数 約700名

4. 事業の評価と今後の取組方向

【事業の評価】

評価の視点	コメント
有効性	来館者の森林に対する理解が進んだ。
効率性	おもちゃの形状に対して予算の範囲内で自由に決められ、アフターメンテナンスも受注された業者でしていただけるので安心しておもちゃを配備できた。
公益性(波及度)	11月以降の来館者数が月平均約700名あり、今後木のおもちゃに触れる機会が増えていくと思われる。

【今後の取組方向】
 来館者から高評価を得たことから、次年度以降も児童館への木のテーブル等を配置して木に対して親しみをもってもらう。

5. 写真



児童館内



児童館内(遊び風景)



木のおもちゃ

6. その他特記事項

対策区分	3.森を育む人づくり	市町名	伊賀市
------	------------	-----	-----

番号	区分	事業名
1	基本・特別	伊賀市ウッドスタート事業
事業費		2,918,502円(うち交付金: 2,918,502円)

1. 事業の目的
 「木育」の推進。
 古くから「木」が身近にある伊賀市では、健やかな子どもの成長と地球環境の維持に役立つ適切な木材の利用推進をはかる必要があります。そのため、「木育」のきっかけとして「ウッドスタート事業」を行ないます。
 伊賀市にあっては、「木育」×「食育」を関連して進めて行き、地域そのものの価値を高めます。

2. 事業の内容
 ・「木育」×「食育」を関連させた事業として、親子ともに木のぬくもりを共有できる物として1歳半健診の時に、健康推進課による「木育、食育」にあわせて、木製(伊賀産材)のスプーンをプレゼントする。そして、3歳児健診の時にも、幼児に対する「木育」に合わせて、自分で使える木のお箸をプレゼントする。
 ・また、子ども自身が存分に木に触れてもらえる機会を作るため、子育て支援センター等に木のおもちゃ(伊賀産材)を導入する。

3. 事業の実績と効果
 【事業の規模(事業量)】
 木のスプーン 1歳半健診時 826本 木のお箸 3歳児健診時 915膳
 木の積み木等配置 子育て支援センター等 9箇所
 乳幼児期から親子で木とのふれあいを通じ「木育」「食育」を組み合わせた健全育成


4. 事業の評価と今後の取組方向
 【事業の評価】

評価の視点	コメント
有効性	保健士より「木育」のチラシと共に直接プレゼントしており好評である。
効率性	木育推進と木に直接ふれる機会作りが同時にできる。
公益性(波及度)	親子で森のことを考えてもらうきっかけとなる。


【今後の取組方向】
 木の香りを直接感じてとして、今後も継続していく方向です。

5. 写真

(配布物)



(配置物)



(配布のようす)



6. その他特記事項
 施策として広報掲載実施、行政ケーブルテレビ放送により広報を行う。



木のぬくもりに触れながら

子育てしてませんか？



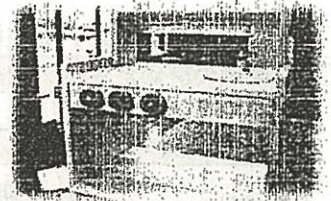
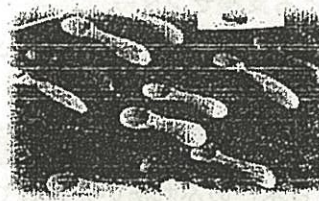
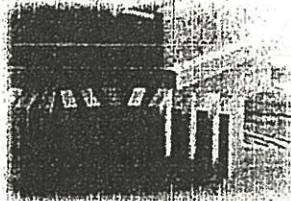
木育

“木を切ること”は“森林破壊”でしょうか？

じつは、森を健康に保つには、ある程度木を切り出すことが必要なんです。私たちに身近な森でも、木が切られず、真っ暗になって荒れてしまったところが増えています。

「地域の木の製品を使うことは、地域の森を守ること」

そんなことを、木のおもちゃで遊んだり、木製の暮らしの道具を使ってみたり、木で何かをつくったり・・・といった木とのふれあいを通して、考えるきっかけにしようというのが「木育」です。



ウッドスタート

～親子ではじめる木育～

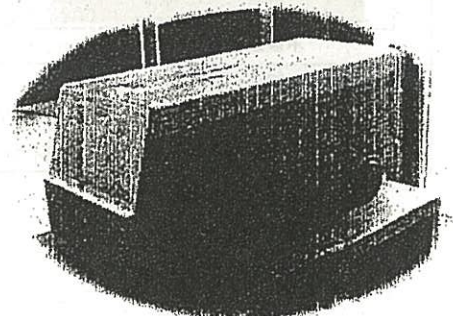
「赤ちゃんの頃から、木のぬくもりに触れよう」というのが「ウッドスタート」です。親子での木とのふれあいは、赤ちゃんだけでなく、おとうさん、おかあさんちやさしい気持ちにしてくれるはずですよ。



伊賀市では「木育」×「食育」を組み合わせた、心と体の健全育成をお手伝いできたらと願っています。

木育情報

- ・ 林野庁・こども森林館 林野庁
<http://www.rinya.maff.go.jp/kids/>
- ・ 木育.jp 特定非営利活動法人活木活木(いきいき)森ネットワーク
<http://www.mokuiku.jp>
- ・ 木づかい.com 一国産材を使って減らそうCO2-
<http://www.kidukai.com/>
- ・ 三重県上野森林公園 住所 伊賀市下友生松ヶ谷1
<http://www.e-net.or.jp/user/muenofp>
- ・ 三重の森林づくり
<http://ss100051/SHINRIN/HP/mori/index.shtm>



参考、引用

特定非営利活動法人活木活木(いきいき)森ネットワーク <http://www.mokuiku.jp>、林野庁ホームページ www.rinya.maff.go.jp/